



「^{げん}「^き「^{がく}「^{しや}」^{せん}だ通信 2

児童川柳 「学校は みんなの笑顔で 楽しいよ」
児童四字熟語「今 苦 後 楽」

平成 23 年 5 月 20 日

～校長室だより～

江戸時代の私塾のひとつに松下村塾があります。その塾長である吉田松陰の教えのよりどころは、「個性の尊重」と「恕の心」といわれています。

松蔭は、塾生の潜在的な個性を掘りおこし伸ばす名人であったようです。「恕の心」(孟子の教え)は、次のような心です。

常に、相手の立場に立って喜びだけでなく、悲しみや苦しみをも、自分のものとして感じ受け入れる優しさ、思いやりである。また、周りの人に喜びや幸せをはこぶ心でもある。

「う～すごい」。まさに個性豊かな絵画表現に感動！

校内巡回していたある日、廊下の掲示板的絵画作品に魅了された。2年生が描いた「ふしぎなたまごをわってみると」の作品である。

いずれも表現意図が明確な作品で、それが構図や着色などの工夫によく表れています。作品1は、着色に工夫がみられる。赤、黄などの暖色を多く使い、華やかが見事に表現され、作品2の恐竜の尾は画用紙からはみ出している。恐竜のメガさが上手に表現され、作品3の花畑には、ハートの印が連をなし、幸せを運ぶ花壇がたまごから現れている。



< 作品 1 >



< 作品 2 >



< 作品 3 >

作品からは、恐竜の声や軽快な音楽などが聞こえてくるようでもあります。まさに個性が発揮された作品で、今後とも、表現の個性化がよりおし進められ、豊かになるよう指導・支援していきたいと思います。

「恕」の心が、5年・6年生の委員会活動に。よい生活環境づくりに感動！

本校には、さまざまな委員会活動があります。この活動は、5年・6年生で構成され、よい生活環境づくりをめざす自治、自主的な活動です。

たとえば、放送委員会からは給食時に、1年生などに生活調査や志向調査した結果が。取材発想がユニークで、ひき込まれる。

今後とも千田放送局からのさまざまな発信に期待を！

また、栽培委員会では、朝の水やりをかかさない。

一つひとつの花にやさしい声をかけながら水やりをしている子どもたち。おかげで、花は命と鮮やかさを保って強く美しい。同時に、私たちのところをも癒してくれています。この千田小には、『花さき山』のごとく、やさしい心の花がいっぱいです。これからもよろしくお願ひします。他の委員会の活動は次号で。

加えて、この緑環境づくり・憩いづくりには、地域の方のお力添えをいただいております。厚く感謝申し上げます。

